

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2795800131		
法人名	株式会社 ニチイ学館		
事業所名	ニチイケアセンター平野北(たんぼぼ)		
所在地	大阪府大阪市平野区平野北2丁目14番6号 オオクラ医療複合ビル		
自己評価作成日	平成27年2月10日	評価結果市町村受理日	平成27年4月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

毎月の行事を、職員が考え2ユニット合同で開催、(たこ焼パーティーやチョコレートフォンデュ)他、行事など季節に応じて、楽しく過ごして頂ける行事作りをしています。また、共用空間の飾り付けなど、各担当職員が工夫し、利用者様・外部からのお客様に楽しんで頂けるように、思考・工夫しています。職員も明るく常に温かい、楽しい雰囲気作りを心がけています。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.jp/27/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kan=true&JigyosyoCd=2795800131-00&PrefCd=27&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 市民生活総合サポートセンター		
所在地	〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目4番17号 千代田第1ビル		
訪問調査日	平成27年3月13日		

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当該ホームは、一人ひとりの笑顔は何よりも大切にしたいとの思いを込めて理念を作り、行事の企画や玄関の飾りつけを利用者も一緒に行い笑顔を引き出せるよう取り組んだり、利用者に喜んでもらえるようにケアに当たっています。職員が行う専門的な介護技術が日々の支援に活かされ、利用者に安心し安全に過ごしてもらえるよう努めています。また管理者は職員の育成に積極的に取り組み自主性を重んじ、やりがいを見出せるように配慮し、職員は積極的に意見を出し合って実践しています。ベテラン職員やケアマネジャーが中心となり介護計画にそった記録の仕方や大事なポイント等を教わりその人らしい暮らしの支援に役立て、また合同で行う毎月の行事は職員のチームワークの良さが発揮され利用者楽しんでもらえるように取り組んでいるホームです。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価
			実践状況	実践状況 次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営				
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所理念として、ひとりひとりの心を・笑顔を大切に、快適な毎日をご過ごして頂ける喜びを享受し、実践するように取り組んでいます。	法人の社是を毎朝唱和し、職員間で作り上げた独自の理念とユニット共通の月目標をリビングに掲げ、またパンフレットにも載せ理念を意識しています。一人ひとりの笑顔を大切に職員間で話し合い、ユニット合同で行う行事や玄関の飾り付け等を工夫したり、職員は利用者の笑顔を見れるよう関わりをしています。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、事業所のニチイまつり等の行事のお知らせなど、町会長様ご協力のもと、地域の掲示板に貼り付けをさせて頂き、地域の方々に参加頂いています。	管理者は自治会の集会に参加しています。掲示板にニチイ祭りの案内を掲示してもらい、祭りやバザーを地域の方の参加を得ています。会長の計らいでふれあい喫茶に出かけられる配慮がなされたり、近隣から食材の購入や理髪店を利用する等、顔見知りの関係が築かれています。併設のデイサービスにフラダンス、三味線、太鼓のボランティアが来られた時は見に行き交流しています。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の人々に向けて、施設の見学会を通知、開催する事で、認知症の人の理解や支援方法を、地域の人々に向けて活かしています。また、希望があれば連携薬局(薬剤師)より、薬の勉強会を開催させて頂いています。	
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度開催させて頂いている運営推進会議では、事業所での運営状況・行事報告を行っており、参加して頂いている方々の要望・助言等を頂きサービス向上に活かしています。	会議は、町会長や女性部長、地域包括支援センター職員、家族等の参加の下、隔月に開催しています。行事や運営状況、職員の異動等を報告し、参加者が持参してくれた震災時の防災訓練のDVDを見たり、ふれあい喫茶に参加できるよう話し合わせる等、地域の情報や現状を知る機会であり有意義な会議となっています。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	生活保護の利用者様も入居されていますので、市職員の訪問調査に事業所に来られる事もあり、また、ご利用者の事で相談に乗って頂いたり教えて頂く関係が築かれています。	相談事があれば市の窓口へ出向いて担当者に実情を伝えたり、電話で聞くこともあります。また、市の担当者の来訪もあり、協力関係を築けるように努めています。研修案内が届いており、体制があれば参加したいと考えています。
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアに取り組んでいます。玄関には施錠をせず、ドアを開けるとセンサーでオルゴール音が鳴るように設定しています。利用者様が出掛けたい時には、可能な限りいつでも、出掛けられる環境にしています。	入職時と年1回以上は身体拘束についての研修があり、職員に周知しています。何気なく発する言葉が拘束に繋がったり、行動を制することも拘束であると日常的に伝え、同じ行動を繰り返す方にも都度付き添うよう指導しています。玄関やフロアは施錠せず、センサーオルゴールにて利用者の外出したい様子を察知し付き添っています。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内の虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人が掲げる高齢者虐待スローガン、虐待をしない・させない・見逃さないをモットーに、日々ご利用者様・職員間の変化に気を配り、見過ごされる事のないように注意をはらい、防止に努めています。	

ニチイケアセンター平野北(たんぽぽ)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人制度を活用されている利用者様もおられ、支援しています。また、後見人制度活用について、市町村へ相談させて頂く事もあり、職員にも伝え、学ぶ機会も持っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者様・家族様に納得して頂けるように説明を行い、また、改定等の際には家族会を開催、理解・納得して頂けるように図っています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	弊社では年1回家族様へのアンケートを行っており、結果等を踏まえ改善すべき要所があれば職員とフロア会議で話し合い改善に取り組んでいます。	運営推進会議や大きな行事の時に家族会を開き、制度改正の報告をしたり、意見や要望を聞く機会としています。面会時にはコミュニケーションを取り、状況を伝えながら意見を言ってもらいやすいよう配慮しています。また電話でも聞いています。法人が行うアンケートの結果を受け、主治医との面談がいつでも出来る事を請求書の送付の際に知らせるなど出された意見を受けてサービスの向上に繋げています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者会議等での運営に関する内容・結果を、職員会議で説明・報告し、職員の意見・提案を聞く機会を設けています。	月1回行う職員会議やフロア毎のカンファレンスで意見や提案があれば、職員の自主性を重んじ実践に繋げています。職員は行事を企画したり、利用者の状況に合わせたケアが提供できるよう業務の体制等を考慮しながら話し合い取り組んでいます。管理者は定期的な個人面談や日常的に職員への気配りを心がけ随時面談をしています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	組合があり職場環境・条件の整備に努めている。弊社ではキャリアアップ制度があり、職員個々に対してやりがいや、向上心を持ち、自信に繋げて頂きスキルアップ・キャリアアップ(自給アップ)に繋げています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修なども職員の要望により参加出来る様に、シフト調整を行っています。法人内外研修を受ける機会も持って頂けるよう、資料等も採集し、トレーニングしていく事を進めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	弊社、他事業所への勉強会・研修の参加、他拠点交流の場を設けて、職員同士の繋がり・ネットワーク作りに取り組んでいます。		

ニチイケアセンター平野北(たんぽぽ)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者様に直接お会いし、困っていること・不安なこと・要望等に耳を傾け、安心した生活・安全な生活を確保できるように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	安心して頂ける生活が送れますように、お客様・家族様の要望を傾聴し、話し合いの場を持ち良い関係作りに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	訪問・面談時に、お客様・家族様が何を必要とされているのか現在の状況をお聞きし、見極め、他のサービスにも繋げられる様に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様と一緒に共感・共有出来る事を考え、共に過ごす時間を大切に、和気藹々と家庭的な雰囲気を作っています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員は、利用者様・家族様との良い関係が保てるように日々努力し、耳を傾け良い関係が保てるように努めています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	近隣にお住まいだった方の家までの道のり、商店街などを散歩したり、馴染みの店への買い物や関係が途切れないように努めています。	友人からの電話の取次ぎをしたり、来訪があれば準備している来客用のテーブルや椅子を居室へ運んでゆっくりしてもらっています。散歩や買い物、神社の周りへの外出は利用者の馴染みの場所であり、希望にそって外出の支援をしています。また、利用者の思いを家族に伝え、家族と墓参りや冠婚葬祭に出かける等、馴染みの人や場との関係が継続できるよう支援しています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	皆さんで楽しんで頂ける様な、レクリエーションを多く取り入れ、2ユニット合同行事も多く、利用者様同士が仲良く関わり合える時間を持つ様に支援しています。		

ニチイケアセンター平野北(たんぽぽ)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了しても、家族様の了解を得、病院お見舞いや、これまでの関係性を断ち切る事なく必要に応じて相談や支援に努めています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様のご希望に添えるように努め、困難な場合は家族様に協力して頂き、ご本人様にとって良い結果が出せるように努めています。	入居時に本人、家族から生活歴や趣味等を聞き、アセスメント用紙に記載し、家族に書いてもらった情報からも思いを把握しています。回想法で得る情報や気づきを介護記録に記し支援経過にまとめたり、半年毎に見直ししながら内容を追記し、全職員と共有しています。困難な時には表情や発言をヒントにカンファレンスで話し合い、思いの把握に努めています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	お客様のこれまでの生活歴、暮らし方について、家族様には入居前にセンター方式で分かる範囲での記載の協力をお願いしています。また、回想法などを活用し、昔の思い出など話し合う時間を大切にしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの一日の過ごし方も違うので、その人らしい過ごし方に担った暮らし方が出来る様に支援しています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的なケア会議(カンファレンス)を行い、話し合い・意見を出し合っています、場合に応じては家族様・主治医・利用者様との話し合いの場をもち、現状に即した介護計画を作成しています。	アセスメントや本人、家族の希望を基に介護計画を作成しています。モニタリングは毎月を行い、カンファレンスで達成状況の確認や職員の意見を聞き、半年ごとに見直しています。変化があれば随時見直し、医師や訪問看護師、家族の意見も事前に聞いて見直しに繋げています。介護計画にそった支援が出来るよう丁寧に指導がなされ、その人らしい介護計画となっています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子などは、個別記録に記載、状況の変化・服薬の変更などは、日々の記録に記載し申し送り等で伝え共有し、介護計画見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々々の状況に対してカンファレンス(会議)等を行い、サービスに取り組む様に支援しています。また、利用者様の変化に気づき柔軟な支援やサービスに対応させて頂いています。		

ニチイケアセンター平野北(たんぽぽ)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者様の趣味や興味の持てる事に対して、楽しみながら本人の心身の力が発揮出来る様支援しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所1階に、提携医が開業しており、利用者様お一人に対して、月2～3回の往診があり医師との受診記録も作成、職員も共有しています。日々の利用者様の健康状態を書き込むようにしています。	かかりつけ医の継続可能であることも説明していますが、現在は全員が提携医に変更され、月2～3回内科の往診を受けています。週1回訪問看護師が健康管理に訪れ、医師との連絡表の活用等で利用者の状況を把握し、看護師と医師との連携が密に図られ、24時間連絡が取れる体制にあります。往診の結果は、医師から報告を受けた時に家族に電話で伝えています。整形外科や眼科は家族が対応し、週1回希望者が訪問歯科を利用しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携体制加算導入をしています。週1回の訪問看護があり、利用者様の健康状態についての相談や助言を頂いています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院した際には、早期退院出来る様に病院関係者との情報交換、退院後のことなどに相談に努めています。また、病院関係(ソーシャルワーカー)との介護支援連携に努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末期のあり方については、提携医・家族様との話し合いを行い、事業所でする事を十分に説明させて頂き、職員と共に共有し支援に取り組んでいます。	重度化についての指針を入居時に説明をし、基本的には看取りは支援していない伝えています。状況によってはできる限りの対応をする姿勢にあり、看取りの支援を行なった事例があります。状況の変化や対応については医師と家族が都度話し合いの意思を確認し取り組んでいます。職員は医師や看護師から対応方法を学び、看取りを行う際は協力が得られる体制があります。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急連絡網・緊急対応マニュアルにて対応出来る様にし、勉強会も開催しています。また、看護師との24時間連絡できる様に対応、支援しています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	併設サービスと自主訓練を行っており、運営推進会議等でも、地域包括・地域の町会長様とも災害時について話し合っています。今後も地域等の方々との協力体制を築いていきたいと思えます。	併設するサービスと合同で年2回昼夜を想定した自主訓練を行っています。消防署への通報や消火器での初期消火、避難誘導の訓練を実施し、利用者も参加しています。運営推進会議では地震や隣の地域との連携も含め防災について話し合われています。水と食料の備蓄は準備しています。	

ニチケアセンター平野北(たんぽぽ)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の人格を尊重し、お手伝いして下さる事に対しては労いの言葉をかけ、誇りやプライバシーを損ねない対応に心がけています。	入職時に接遇マナーや尊厳についての研修で学ぶ機会があります。ケアの場面ではその方を敬う言葉かけや丁寧語を心がけ、親しみが過ぎないように節度を持って接しています。後ろ側から利用者へ声をかけず、声の大きさやトーンに注意し、排泄時や入浴時は羞恥心やプライバシーに配慮し対応しています。不適切な時は職員同士でも注意しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様との時間を大切にし、ご本人の思いや希望に対する表現を見逃すことのない様に、自由に表現できるように働きかけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様ひとり一人の想いを大切にし、そのひとらしく、ご本人の時間の過ごし方を大切にしています。職員本位ではなく、利用者様本位で支援させて頂いています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者様・家族様の希望で定期的に近隣の理髪店や美容院に出かけています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様との食事作りや、食べたい物などをお聞きしメニューに取り入れ献立を立てています。2ユニット合同行事では、たこ焼作りや・バイキング料理など、利用者様・職員一緒に楽しみながら参加しています。	利用者に食べたい物を聞いて職員が献立を立て、地域から配達してもらい、足りない物は買い出しに行っています。利用者は皮むきやたこ焼き作り等、出来る事に携わってもらっています。天気の良い時はバーベキューをしたり、弁当など出前を取り入れ、誕生日の寿司の出前は利用者の楽しみ事となっています。合同行事の際には職員も一緒に食事をし楽しめるように支援しています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食後の食事量・水分量の記載、ひとり一人の状態に応じ、きざみ食・なめらか食・ミキサー食にて対応しています。利用者様の好みの飲み物も色々をご用意させて頂いています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	週に1度の訪問歯科より口腔ケアマッサージを受け、毎食後のうがい・歯磨き・口腔ケアスポンジ・義歯洗浄などの支援をしています。		

ニチイケアセンター平野北(たんぽぽ)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄の失敗があってもすぐにおむつの使用をするのではなく、排泄チェック表を利用し、時間帯に応じたトイレへの声かけ・誘導を行い自立に向けた支援を行っています。	個々の排泄の記録を基にパターンを把握し、失敗が多い時には原因を探るために更に細かく記録をしています。出来るだけ布の下着で過ごしてもらえようカンファレンスで検討を重ね、紙パンツから布の下着に変わった方もいます。またアイコンタクトでトイレ誘導をしたり、立位を保てるよう二人介助も行いトイレで排泄できるよう支援しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の予防に対して、なるべく薬に頼る事なく、食事内容に工夫し、フルーツ・サラダ・乳製品を摂りいれています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴を楽しめるように、入浴剤や季節に応じたゆず湯や菖蒲湯を使用しゆっくり入浴を楽しめるように支援しています。	週2～3回を目途に午後から設定した曜日に入ってもらっています。午前や夕食後の入浴の希望があれば、検討したいと考えています。柚子やs菖蒲、入浴剤を用い季節湯を提供し、家族が持参した石鹸の使用や一人ずつ湯を変えゆっくりと入浴を楽しんでもらっています。拒否があれば時間や職員を変えた声かけで入ってもらっています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は、フロアにてレクリエーション等楽しく過ごして頂き、その時々利用者様の状況に応じて、お昼寝など休息して頂いたり支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬局との連携もあり、薬について疑問に感じた事・わからない事に対しては、いつでも連絡でき、相談に乗って頂ける体制でいます。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ひとり一人、その人にあつた楽しみ事・役割・出来る事を活かし、張りのある生活・気分転換出来る生活を送って頂けるように支援しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日には、近隣の神社等の散歩に出掛け、また、本人の希望を把握し家族様に相談させて頂き、演劇観賞・水族館等に出掛けられるように支援しています。	気候の良い時と職員の体制があれば近隣を散歩し、日曜日には散歩を取り入れ外出をしています。春には公園や神社へ花見に出かけたり、買い物や理髪店へ出かける際には寄り道をし気分転換をしています。家族と相談の下介護タクシーを使って水族館や観劇に出かけ、個別に希望を聞いた外出支援に努めています。	

ニチケアセンター平野北(たんぽぽ)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者様のご希望があれば、家族様にご相談させて頂き、職員と一緒に掛付け購入して頂けるように支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者様のご希望があればいつでも、電話をしたり出来る体制でいます。また、家族様・友人からの電話にもお繋ぎして出て頂ける事も随時あります。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	生活感や季節感を感じて頂けるように、共用空間には、行事で行われた利用者様の写真・季節事の飾りつけなどを採り入れ、居心地よく過ごして頂けるように工夫しています。	各フロア入り口には趣向を凝らした飾りつけや置物が飾られ、リビングには季節毎の行事の写真や利用者の作品を飾り、家庭的で明るい雰囲気となるよう工夫がなされています。テーブルやソファの配置は利用者同士が居心地よく過ごせるよう配慮をしています。共用空間は感染予防のために換気や清潔、清掃、温・湿度対策にも心がけ、安全に過ごしてもらえる環境づくりに努めています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングには和室もあり、フロアにはソファも置かれ、ご利用者様自由に、思い思いにいつでも居心地よく過ごせるように工夫しています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様が以前のお住まいから慣れ親しんだ家具、使い慣れた物を使用、ご家族様と相談し以前と変わらず生活して頂け、居心地よく過ごして頂けるように工夫しています。	各居室からは外の景色が見渡せ明るい室内で、エアコン以外は何でも持ち込める事や馴染みの物を持参してほしい旨を伝えています。時代が感じられる古い筆筒や使い慣れた家具、テレビ、時計、ジグソーパズル、大切にしている家仏壇等が持ち込まれ、表札や暖簾を入りに掛付けたり、家族と配置を考える等、その人らしい居室となるよう工夫がなされています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者様ひとりひとりの出来る事・わかる事を活かせる事が出来る様に、安全な環境作りをし、安心して過ごして頂けるように、日々心がけその中で自立した生活が送れるように工夫しています。		